

特集：2009年度日本数学会出版賞受賞者のことば

早川書房「数理を愉しむシリーズ」

このたびは、日本数学会出版賞をいただき、まことに光栄です。

「早川書房が日本数学会の賞を受賞だって？」と奇異に思うかたがいらっしゃるかもしれません。無理ありません。弊社は海外文学を主にミステリやSFの得意な版元であるというのが出版界の通念でしょうから。しかしながら、故早川清が1945年の終戦の年に演劇雑誌と演劇書の出版を始めました。一方では『ソロモンの指環』、新しくは『ホーキング、宇宙を語る』など、海外の優れたノンフィクションを紹介してきました。今回『数学をつくった人びと』、『はじめての現代数学』を筆頭とした《数理を愉しむ》シリーズを顕彰されたのは、これらの実績を評価していただいたと同時に、知る人ぞ知る名作の発掘・再評価を試みたこのシリーズを筆頭に、古今東西の数学啓蒙書の出版に今後も邁進せよ、という鞭撻の意味とが込められているものと考えます。

出版不況が叫ばれて久しいですが、幸いなことに、一般向け数学解説というのは、厚い読者層に支えられた、比較的堅調な分野です。科学解説書も広義のエンターテインメントだという考えのもと、数学解説の固定読者はもとより、「2次方程式の解の公式」を忘れてしまった読者をも魅惑する、そんな数学解説書・関連書の出版を続けていく所存です。ありがとうございます。

代表取締役社長 早川浩